

## 巻頭言

### 『年報』発刊にあたって

名古屋大学大学院人文学研究科は、文学研究科、国際言語文化研究科、国際開発研究科国際コミュニケーション専攻を統合再編して、2017（平成29）年4月1日に発足しました。人文学研究科設立の目的は、人文学の知のリソースが分散して配置されていた状況をあらため、人的資源を結集することによって人文学の国際水準の教育研究拠点を形成し、研究者及び高度専門職業人を養成するとともに、多文化共生社会の実現に向けて国際社会及び地域で活躍できる人材を育成することにあります。

こうした目的を実現できるかどうかは、日々の教育活動、研究活動にかかっていますが、日々の活動が目的の実現に資する取り組みとなっているかどうかは、不断の検証が欠かせません。人文学研究科では、教育研究活動を検証し、計画—実行—評価—改善のサイクルを通して教育研究活動の高度化を進めるための仕組みとして、部局の運営方針を協議する運営委員会の下に教育研究推進室を設置しています。

教育研究推進室は、もともと旧文学研究科に置かれていた組織で、旧文学研究科の教育プロジェクトが2006（平成18）年に文部科学省の大学院教育改革プログラムである「魅力ある大学院教育イニシアティブ」に採用されたことを契機に設置され、以来、10年以上にわたって、大学院生に対する支援事業やワークショップの開催など、旧文学研究科の教育研究活動の活性化に向けた取り組みを行ってきました。人文学研究科の発足にあたっては、同様の取り組みとともに、部局の中期目標、中期計画、年度計画の策定や教育研究活動全般の評価に必要な各種データの収集、分析等も、教育研究推進室が担うことになっています。

教育研究推進室が収集した、部局の教育研究活動に関するデータや、教育研究活動に関する様々な取り組み状況等は、部局内で教育研究活動の高度化に向けた検討に活用するとともに、社会に向けても公表し、現状の取り組みに不十分なところはないか、各方面のご意見を仰ぐことも、開かれた大学としての使命です。そのため、教育研究推進室では、部局の教育研究活動の状況を広く社会に知っていただくために、このたび、機関誌として『年報』を刊行することといたしました。

この『年報』が、名古屋大学大学院人文学研究科の教育研究活動をご理解いただく一助となり、また、教育研究活動のさらなる高度化へ向けた契機とならんことを願っています。

名古屋大学大学院人文学研究科長  
佐久間淳一